

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第26週の発生動向

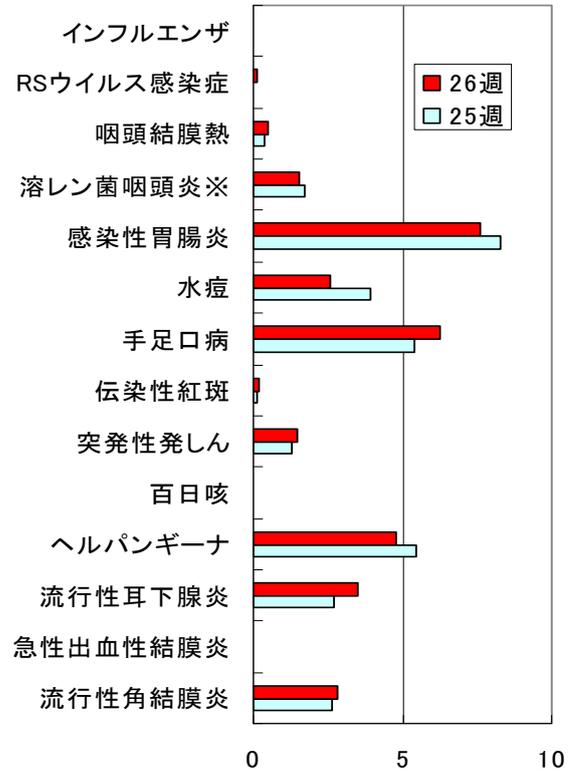
定点医療機関からの報告総数は1,045人(定点あたり31.4)で、前週比98%と横ばいであった。

前週に比べ増加した主な疾患は手足口病と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は水痘とヘルパンギーナであった。

流行性耳下腺炎の報告数は126人(3.5)で前週比130%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(1.7)と比較すると約2倍である。日向(19.8)、延岡(6.3)保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では3歳から7歳で全体の約8割を占めた。

手足口病の報告数は225人(6.3)で前週比116%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(3.7)と比較すると約1.7倍である。日南(25.7)、都城(9.0)、日向(8.5)保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では1歳から3歳で全体の約7割を占めた。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
手足口病	5	6.3	日南(25.7)、都城(9.0)、日向(8.5)	1歳~3歳で全体の約7割を占めた。
ヘルパンギーナ	6	4.8	日南(11.0)、延岡(7.3)	1歳~3歳で全体の約7割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	3.5	日向(19.8)、延岡(6.3)	3歳~7歳で全体の約8割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 1 例が日南保健所から報告された。70 歳代の男性で肺結核。痰がみられた。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例が都城保健所から報告された。5 歳の男児で腹痛、水様性下痢、発熱がみられた。原因菌の血清型は O26 (VT 産生)。
- 4 類感染症：マラリア 1 例が宮崎市保健所から報告された。ソロモン諸島に渡航歴のある 20 歳代の男性で三日熱。発熱、悪寒、頭痛がみられた。
- 5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 例が宮崎市保健所から報告された。30 歳代の男性で無症候性キャリア。

■ 病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）

□ 細菌（第 25 週～第 26 週：平成 22 年 6 月 21 日～7 月 4 日までに分離同定）

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床診断名等	分離材料	分離同定日
<i>Salmonella</i> Yovokome (O8:d:1,5)	30代前半	男	6.14		便	6.23
腸管出血性大腸菌(O157:H7 VT1,2)	0～4	男	6.18	発熱(37.9℃)、上気道炎(咳、鼻汁、咽頭炎)下気道炎(気管支炎)胃腸炎(下痢、嘔吐)	便	6.23
<i>Salmonella</i> Montevideo (O7:g,m,s:-)	90代前半	女	6.23		便	6.30
腸管出血性大腸菌(OUT:H18 VT1)	20代後半	男	6.24		便	7.2
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	0～4	女	6.26		便	7.2

□ ウイルス（第 25 週～第 26 週：平成 22 年 6 月 21 日～7 月 4 日までに分離同定）
報告なし。

■ 全国第 25 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 18.4 で、前週比 105%と増加した。今週増加した主な疾患はヘルパンギーナと手足口病で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

ヘルパンギーナの報告数は 8,689 人 (2.9) で、前週比 184%と増加した。徳島県 (7.9)、三重県 (5.6)、宮崎県 (5.5) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 8 割を占めた。

手足口病の報告数は 7,743 人 (2.6) で、前週比 144%と増加した。大分県 (9.7)、山口県 (9.1)、高知県 (8.8) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳で約 8 割を占めた。

□ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 336 例
- 3 類感染症：細菌性赤痢 3 例、腸管出血性大腸菌感染症 77 例
- 4 類感染症：E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 7 例、つつが虫病 4 例、デング熱 4 例、日本紅斑熱 4 例、マラリア 4 例、レジオネラ症 10 例
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 8 例、ウイルス性肝炎 3 例、急性脳炎 4 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、後天性免疫不全症候群 11 例、ジアルジア症 1 例、梅毒 7 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、風しん 1 例、麻しん 10 例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2010年 第26週(06月28日～07月04日)

疾病名		第25週	第26週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数		5		4				1			
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	13	18	1	2	1	8		6			
	定点あたり	0.36	0.50	0.10	0.33	0.25	2.67	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	61	55	9	3	21	4	2	10	1	4	1
	定点あたり	1.69	1.53	0.90	0.50	5.25	1.33	0.67	2.50	1.00	1.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	299	274	64	64	10	22	50	25	4	33	2
	定点あたり	8.31	7.61	6.40	10.67	2.50	7.33	16.67	6.25	4.00	8.25	2.00
水痘	報告数	142	93	22	10	22	6	5	7	6	12	3
	定点あたり	3.94	2.58	2.20	1.67	5.50	2.00	1.67	1.75	6.00	3.00	3.00
手足口病	報告数	194	225	28	54	17	77	8	4		34	3
	定点あたり	5.39	6.25	2.80	9.00	4.25	25.67	2.67	1.00	0.00	8.50	3.00
伝染性紅斑	報告数	4	7	1	5				1			
	定点あたり	0.11	0.19	0.10	0.83	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	46	52	7	7	14	7	4	7		4	2
	定点あたり	1.28	1.44	0.70	1.17	3.50	2.33	1.33	1.75	0.00	1.00	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	197	173	48	16	29	33	9	11	1	21	5
	定点あたり	5.47	4.81	4.80	2.67	7.25	11.00	3.00	2.75	1.00	5.25	5.00
流行性耳下腺炎	報告数	97	126	11	2	25	1	2	4		79	2
	定点あたり	2.69	3.50	1.10	0.33	6.25	0.33	0.67	1.00	0.00	19.75	2.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	17	16	1							
	定点あたり	2.67	2.83	5.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2010年第1週～第26週)

2類感染症	結核	96例(1)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	20例(1)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例	つつが虫病	1例
	マラリア	2例(1)	レジオネラ症	1例		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	7例(1)	急性脳炎	6例
	後天性免疫不全症候群	3例(1)	梅毒	4例	破傷風	3例
	麻しん	1例				

()内は今週届出分、再掲

こども感染症情報

おたふくかぜが増えています。(6月28日～7月4日)

おたふくかぜの報告が増えています。過去5年間で2番目に多い報告数となっています。日向市、延岡市周辺からの報告が多く、警報レベルを超えています。年齢別では3歳から7歳のこども達が多く感染しています。

おたふくかぜにかかると、軽い熱がでて耳の下（耳下腺）やあごの下が腫れます。熱は、耳下腺が腫れる前からでて、腫れがピークになるころまで続きます。高熱や頭痛、嘔吐などの症状があるときは重い合併症も考えられますので、すぐに診察をしてもらいましょう。

人にうつりやすい時期は、腫れが出る2～3日前から発症後1週間ほどです。その間は、外出を控え、ほおを冷やすなどして家で静かに過ごしましょう。

予防接種は1歳から受けることができますが、任意ですので費用がかかります。症状の出る前から人にうつることもあるので、家族の方がかかったあとにワクチンを接種しても防ぐことができません。接種時期などはかかりつけの医療機関にご相談ください。

手足口病は日南市、都城市、日向市周辺から、ヘルパンギーナは日南市、延岡市周辺からの報告が多く、警報レベルを超えています。石けんでの手洗い、うがいを徹底しましょう。